

クラストコ

学ぶ

02

手筒花火を学ぶ



豊橋が発祥の地とされる「手筒花火」。巨大な火柱と大音響のハネに誰もが圧倒されます。

今回、その手筒花火の揚げ手として密着するのは、岩田八幡宮・琴平神社を本拠地とする手筒花火団体「岩田煙友会」の女性メンバー。準備から当日までの苦労や思いを通して、手筒花火の魅力を紹介します。

昭和



地元のことが大好きで、手筒花火をとことん愛する！

「岩田煙友会」の女性メンバーに密着！

令和



豊橋の伝統「手筒花火」を知る



450年以上の歴史と共に 受け継がれる手筒花火の魅力

轟音の中、10m以上の炎が舞い上がる手筒花火。その歴史は古く、吉田神社に残る「三河国古老伝」に、吉田（現在の豊橋）の花火が永禄元（1558）年に始まったと記されています。

手筒花火の特徴は、約1か月前から揚げ手が自分で竹を切り出し、火薬を詰めるところまで手掛けること。当日の数十秒のために作る手筒花火には、語り尽くせない思いが込められています。こうした歴史や魅力の詰まった手筒花火は、市内の祭礼のほか、市外のイベントでも数多く揚げられています。

市内のさまざまな場所で 手筒花火を見られます！

4月	豊麻神社例祭	豊麻神社
7月	吉田神社例祭 祇園祭	吉田神社
9月	炎の祭典	豊橋球場
10月	岩田八幡宮・琴平神社 秋季大祭	岩田八幡宮
	羽田八幡宮 例大祭	羽田八幡宮境内 松葉公園
	椋本八幡社秋季祭礼	椋本八幡社
	東田神明宮 例祭	東田神明宮

今回紹介するのはこちら！

※一部抜粋

女性も大活躍！

岩田煙友会

岩煙

Profile

祭り大好き、手筒花火大好きな女性メンバーに話を伺いました。

国籍問わず、20~70代の約30人が在籍する団体。地元の祭礼や行事、市のプロモーション活動にも参加している。



手筒花火 LOVE

安達 なぎざさん(27歳)
所属10年目。1児の母。
父も夫も煙友会メンバー。

高橋 伸予さん(41歳)
所属7年目。2児の母。
煙友会のお姉さんの存在。

岩田 絢子さん(42歳)
所属7年目。2児の母。
夫も煙友会メンバー。

松堂 萌さん(23歳)
所属7年目。1児の母。
父も夫も煙友会メンバー。

Q.岩田煙友会に入会したきっかけは？

安達 父が、手筒花火の製作から放揚までを総括する煙火長であることもあり、18歳の時に入りました。

岩田 私は和気あいあいながらも、地元の祭りに掛ける真剣な煙友会の姿勢に惹かれました。

Q.初めて手筒花火を揚げた時の感想は？

松堂 揚げる前に緊張してお腹が痛くなりました。

高橋 そうそう。最初は緊張して全く覚えていません。ただ、揚げ終えた後は達成感がありました。

安達 「終わった！」という安心感と共に、「また揚げたい」という気持ちになりますね。自分で約1か月かけて作った手筒なので、愛着も湧きます。

Q.女性がいる岩田煙友会ならではのの特徴は？

岩田 基本的には同じ作業をしますが、祭りで使用する子ども用手筒花火の製作や、竹の葉を切る作業など細かい部分は女性陣が担当しています。

松堂 妊娠している時は、男性陣が重たいものを率先して運んでくれますね。

安達 竹の節を削ったり、火薬を詰めたりする作業は、何十年も続けてきたベテランから学ぶことも、まだまだ多いです。

Q.皆さんにとって手筒花火とは？

高橋 楽しくてワクワクする！

安達 手筒花火がないと1年が終わらないですね。

松堂 会員はもちろん、手筒花火を通していろんな人とつながることができます。

岩田 一致団結することや地域とのつながり、絆を感じられるものですね。

製作現場に密着！ 岩田煙友会から学ぶ 手筒花火が揚がるまで



長期間ですが頑張りましょう！
自分で作った手筒には
愛着が湧きますよ～！

初めて手筒花火を
揚げます。ドキドキ！
頑張るぞ～！



クラスト編集部
ウガモト ヨナシロ デミ

1か月前

1 竹取り

3年経過したまっすくな竹を選び、根元から切り倒します。小枝を剪定し、ほかの竹を傷付けないように2人で大事に運んでいきます。

体力がいりますね。



剪定しやすい
刃の入れ方が
あるんですよ。

なるほど～！

3週間前

2 縄巻き

90cmほどの長さに切り揃えた竹を十分に乾燥させ、ゴザと縄を巻きつけて外側を補強します。



きつく
巻くんです。

巻きつけたら、針金で縄を固定する。

1～2週間前

3 筒磨き

竹筒の内側の節を、ヤスリを付けた棒で丁寧に磨きます。年長者に確認してもらいながら、完全に滑らかな筒に仕上げます。



火薬をむらなく
詰めるためにも
大切な作業です。

ゴザ

前日

4 火薬込め

火薬を扱うには、ルール厳守と安全第一が基本！煙火講習で火薬の取り扱いについて学んでから、煙火工場での火薬込め作業がスタートします。焼酎で湿らせた黒色火薬を丁寧に混ぜ合わせ、約6回に分けて筒の中に専用の棒で突き固めていきます。



手筒の大きさに
合わせて火薬の量も
変えるんです。

火薬を手筒に
詰めるのに約1時間！
汗が出る～

底に「跳ね粉」と呼ばれる火薬を入れ、新聞紙で保護して完成！



いざ お祭当日！



全員で手筒を神前奉納



地面に寝かせた状態で手筒花火に点火



「よし」の声があったら、筒を持ち上げる



初めて 手筒を揚げて

最初は緊張しましたが、終わると感動で涙！一丸となって作業する中で、揚げ手の熱い思いと絆を実感しました！

